



謹賀新年 58年春

郷土研究会運営委員一同

酒々井町郷土研究会々報

第27号

昭和58年1月5日 発行
酒々井町郷土研究会 総務部

石佛調査を一巡して 相京晴次

石仏調査は当町の民俗調査の二環として昭和五十三年に郷土研究会の三ヶ年計画事業として発足、毎月一回、日曜に同好者を中心として調査を進めて来たのであり、予想以上に石仏の数が多く、五ヶ年を要した。五十七年十一月をもつて全町の寺院、墓地等を一巡するこ

とができた。調査箇所は九十ヶ所、調査に協力して下さった人員は、多い時で十数人、少い時は五人、平均八、九人の陣容でありました。

二、三月の寒風の中、七、八月の火炎暑中、もめぐず調査に協力下さった諸氏には感謝あるのみであります。

また、地区によつては地元の人達が進んで協力下さったこともあり、ありがたいことでした。

調査方法は場所別に種類、年代、大きさ、保存状態の記入、写真撮影、影などでありましたが、保存環境が倒れているもの、埋没しているものなど

千差万別でありました。文化財愛護の立場から整理復原することに努めました。埋没したものは発掘して台石に据え、セメントづけをするなどの作業も百数十基ありました。調査日数の延長もやむを得ないことでありました。

十二月の会は青平研修所で写真や資料の整理を行い、その集計も出来たので中間報告を行う次第です。調査結果は次の通り

計 九五四基

- 地藏菩薩 四二五
- 聖観音 一〇一
- 大日如來 三二
- 多宝如來 二〇
- 如意輪観音 二四三
- 阿彌陀如來 四九
- 馬頭観音 二九
- 以下十九種 五五

以上は丸彫り、浮彫りになつてゐる石仏が大部分です。数字は調査した数字であり、従来調査済みの庚申塔、双体道祖神、六地藏などは含まれていません。これらのものは五十八年度事業として函調査して加えることになつております。から数はもつと多くなりま

この外に舟型塔婆、角型石碑の古いものも調査してあります。別の機会に発表いたします。調査結果をみて、地藏菩薩と如意輪観音の数が圧倒的に多かつたのは意外でありました。

五五々の祖先の信仰のあり方に想ひをよせるとともに、勉強になりました。今回は石仏調査の中間報告として概要を記しました。詳細は調査完了後発表致します。

ナンバーワン物語 (一) A 生

酒々井町で一番標高の高... 論乙駁となりまし...

「下総第一の高地」の面目にかけて、附近の市町... 三ハの五米、これはごく最近の資料によるもの...

村を五万分の一の地図によって調べてみますと意外... 佐倉市の旧内郷根郷白井地区のほとんどもは三〇米未満...

Table with 2 columns: Location (e.g., 稲橋, 伊波台) and Elevation (e.g., 37.0米, 33.0).

難読地名 (二) 室賀淳吉

八街町 文違(ひじかい) 雁丸(かんまる)
佐倉市 角来(かくらい) 生谷(おぼかい)
我孫子市 神野(かんの)
酒々井町の 日秀(ひびり) 中峠(なかびよう)
酒々井区 小字 部部(いちぶ)
下台 上ヶ作(じようがきく) 所城(ところじ)
本佐倉 大台(おほの) 西屋(にしや) 五良(ごりよう)
馬橋 猿樂場(さぶら) 向原(むこうば)
中之尾余(なかのびよう) 以下次号

郷土石井日誌 10~12月

- 10月3日(土) 古文書学習会 出席者 13名
10月4日(月) 会報26号発行
10月9日(土) 野草の会 21名出席のため中止
10月17日(日) 石仏調査 伊波浄泉寺墓地 参加者12名
10月21日(木) 定談会 三井旭、東島大西氏を招き星の民俗を語り、参加者12名
11月6日(土) 野草の会 大和田ハチ代方面観察会 参加者21名
11月10日(水) 史談会 酒々井町の民俗 参加者6名
11月13日(土) 古文書学習会 出席者9名
11月14日(日) 石仏調査 上岩橋各墓地 参加者6名
11月16日(火) 民衆養老会 谷方面観学会 A班 36名
11月19日(金) B班 38名
11月30日(火) C班 39名
11月29日(月) 樹木名札ペンキ塗 参加者9名
12月4日(土) 見学会コース決定委員会 出席者9名
12月7日(火) 水尾州方面一泊見学会 出席者23名
12月12日(日) 石仏調査資料整理 参加者13名
12月19日(日) 運営委員会、58年度事業計画外 出席者19名

県内一泊見学会 青木朝次

光ドライブインより二十四名、シヨッピンング前より二十五名、役場より二十四名、総計七十三名。大型バス一台、マイクロー台で五七年産の県内一泊見学会に充てる。高尾山を抜けて、高尾山ドライブインにて少憩。右手は東京湾臨海工業地帯、川鉄工場、スエ場、石油、化学、火力発電等と数々の化学製品の工場が延々と続く。

木更津を過ぎると右に東京湾が見え始める。磯の岩が重宝に望め目を染しませて呉れる。木更津は、証誠寺、金鐘城、大富と切られ子三等が有名。本、千余年前の弟橘姫の物語りもある。町を抜けるに遠く忍香屋敷がある。そして高尾山、十六号線は東京湾を渡り、神奈川、東京、埼玉、大宮から千葉と廻る道であるが、車は左折、二七号線に入る。右手の山頂に東京湾の眺望が望める。佐貫、マカ、牧場、神興寺入口、漆川、高尾山、野郎公園入口と過ぎる。急なトンネルが長くなる。金谷、神奈川、県入、里浜と結ぶフェリー、兼船場である。山頂の形が鋸に似て居るので鋸山と云ふ。ロープウェイ乗場に到着。此の山は昔、石切場が数十米、数百米の断崖が到る所にある。六四二米のロープウェイ四分で頂上に立つ。時雨か、雪の、百尺の観音、地獄のやき、三層の台等を見て下山する。浜金谷で昼食。食後の見学地、鋸山の里見公園、館山城、里見八太夫の墓等を見学する。

那古の崖の観音を左手に見て、館山市内を抜ける。海岸線を進めば、州の南灯台、布良の干枝田、野島崎灯台、フラワライオンと車は快調に進む。車は近道をして花の和田町、江見町と通り、仁衛門島を右手に見ながら、小湊、水鏡、入口の駅前ホテル、万巻の泊る。会費自費の敷、夜は使ける。翌日万巻を九時出発、仁衛門島を見物する。仁衛門島は、平野、仁衛門が源頼朝を助けたこと、功に依り、後、頼朝より此の島を贈られたと云ふ。八百余年前のことである。見物後、活きの良いヤガエ、蛤、干物と珍物が揃える。川有料理店を降り、金山、山崎、山崎、山崎の山々、鹿野山、裏側と山中を歩り、高尾山(室町時代の建造物)で縁が高く、立派な寺で、現世利益で昔、近郷近在は、論議のこぼれ、三三三日をかりて、参詣人があつた。上総州望野郡魚山と記されている。大きな給馬、上総州望野郡魚山に人里に降りて、木更津に出た。昨日通った国道十六号線を送り、北上して、浜野の臨海ドライブインにて、少憩。昼食を取り、東関東高速道路を走り、全員無事帰る。

新入会員紹介

338	田丸春子
339	勝木康弘
340	瀧山鹿蔵
341	斎藤照代
342	赤羽勝江
343	高井光晴
344	櫻井しず
345	石井あや子
346	杉山玲子
347	松本諒子
348	榎やし子
349	三浦美子
350	内山良子
351	山崎和子
352	西田典子

会計報告

57年11月16日、19日、30日 茂原養老ヶ池酒会
 収入 会費 1000x113人=113,000.-
 支出 バス代 3回 8000x3=24,000.-
 神楽茶代 540x37人=19,980.-
 昼食と酒代 700x77人=55,300.-
 西頼寺灯明料 2000x3=6,000.-
 資料代 50x106枚=5,300.-
 計 110,580.-
 差引残 2,420.- 翌年繰入

57年12月7日、8日 房州方面一泊見学会
 収入 会費 10,500x73人=766,500.-
 石巻研度 21,000.-
 計 787,500.-
 支出 有料道路 5,000.-
 鋸山ロープウェイ 540x73人=38,880.-
 会館山城入場料 50x70人=3,500.-
 常楽山入山料 300x63人=18,900.-
 運転手手当て 5,000x2人=10,000.-
 演芸祝儀 2,500x2人=5,000.-
 女中手当て 2,000x5人=10,000.-
 万巻泊料 73人=637,846.-
 (酒会代共)
 仁右門島入島料 550x73人=40,150.-
 計 770,126.-
 差引残 17,374.- 翌年繰入

郷土研行事案内

58年度 定時総会	1月25日(火) 午後1時受付 開会1時30分 ○終了後会員演芸発表会も開催 ○58年度会費受附ワます共1,000円 会員多数の出席を希望致します
文化財 愛護	2月13日(日) 午前9時音聲研修所集合 午前中 上岩橋貝層・カクム口草刈清掃 } 雨天中止 午後1時大崎坂上集合 } 代替 松並木榎木焼却 傾斜橋正 } 2月20日
県内 見学会	3月8日(火) A班 } 各38名 会費1,000.- 昼食代共 3月11日(金) B班 } 申込受付1月10日午前9時以後 見学地 = 木更津長樂寺 ~ 東京湾観音 ~ 富津公園方面

項目	一月	二月	三月
石 弘 調 査	休 三	6日(日) 午後1時 中央公民館集合 雨天中止	6日(日) 午後1時 中央公民館集合 雨天中止
古文書 学習会	休 三	12日(土) 午後1時30分 中央公民館	12日(土) 午後1時30分 中央公民館
野 草 の 会	2月19日(土) 11時より、中央公民館にて 旧暦正月7日 七草かゆを食べる会 先着50名 会費500円 申込受付1月10日 以後		19日(土) 午後1時 京成酒2井駅集合 志津方面行(雨天中止)

見学会案内

○長樂寺 木更津市請西にある真言宗豊山派の古刹で、寺域は一万余坪、鎌倉時代の創建と伝えられ、室町期の庭園と二十余基の五輪塔がある外に左の県指定文化財が四種ある。

○東京湾観音 若津市出身の宇佐美政衛さんが昭和三十六年戦没者慰霊のために独力で造立したコンクリート製、全長五十六米、日本一の仏像冠部からは一萬燭光の光が發し、灯台の役を果している。

○富津公園 戦時中は要塞地帯であり、一般の人は近寄れなかつたが現在は公園となつて親しまれている。

一九八三年を迎え、会員各位の市繁栄と市健康を心より祈念申し上げます。

総務部